



## 中国情報 (INFORMATION CHINA)

2011年2月号

発行: 国際ビジネス情報協同組合

### 実習生受入れの企業様へのお願い

実習生は遠い外国から来ています。当然、慣習や習慣が違います。

彼らにとって、春節（旧正月）は、家族と一緒に過ごしたいと熱望しています。

しかしながら実習生たちは日本に居り、それが叶わないのが現状です。

そこで企業様にお願いがあります。せめてこの日だけは、特別に休みにしたり残業はさせないようにしたり、何か食べ物の差し入れをしたりして、彼らに「**体・心の休みの時間**」を与えてやってください。

中国の春節（旧正月）は、今年は2月3日（木曜日）です。

中国人にとっては、年に一度の「お祝い日」を大変大切にしています。中国人はこの日だけはどんなに遠くても、家族みんなでテーブルを囲み、お祝いをする習慣を持っています。

春節には、家族親戚が集まり新年を祝い、除夜の夜には一家がテーブルを囲んで座り、「年夜飯」（ニューイェファン）を食べます。この夜のメニューは大変豪華で魚料理も出てきます。魚料理を出すと、毎年裕福になるという大変おめでたい意味なのです。

新年と旧年が真夜中（子の刻）に時刻に交替するという意味は、「交子」いい、発音は（チャズ）とする。これが餃子（チャズ）と同じ発音なので餃子を食べます。餃子を食べなければ年を越せないと言われています。

### 日本は？

新しい年の12分の1が過ぎました。経営者の感覚では、「経済状況は依然厳しいが、少し落ち着いてきた。」と言うところではないでしょうか。

大半の企業では、あと2ヶ月で新年度になり、新しい計画案を策定している時期になると思います。そこで日本のおかれている問題点を少し抽出してみました。

日本は、現在次のような問題を抱えています。

#### ① 高齢人口割合の増加

まず、昨年10月1日現在の推定では、高齢者の全人口（127,771千人）にしめる割合は、全国比は平均21.5%であります。

生産年齢人口（仕事ができる人口）は、64%で非生産人口（働くことが出来ない人口）は36%であります。

（詳しくは下記）

<http://www.pref.ehime.jp/050keizairoudou/060koyoutaisaku/00002141021211/kourei10.pdf>

<http://www.stat.go.jp/data/jinsui/2008np/index.htm>



## 中国情報 (INFORMATION CHINA)

64% (生産人口) が 36% の非生産人口を養わなければならないこととなります。

現に、年金給付が 50 兆円を突破し、GDP (名目国内総生産) 10% を超えています。1.8 人で 1 人を支える非常に厳しい状況です。こうなると、人口だけで見ると、必然的に日本の国が弱体化すると考えられます。

### 生まれるか新商売)

一方、このことにより老人を対象とした直接的、間接的ビジネスが生まれてくると考えることができます。例を挙げると、直接的には老人介護関係の業種、医療などがありますが、間接的には健康食品、紙関係 (オムツなどの需要)、旅行などが出てきています。

### 円高について)

日本の円は、対ドルの外国為替相場で大きく見ると、81 円から 87 円位を推移しており、新年度を迎えたから円安になるとは考えられません。この理由は、借金で生きている米国 (赤地国債) は経済が少しはよくなる事情があっても、好景気になることは考えられません。

また、ユーロ (ヨーロッパ、イギリスを除く)、は、ユーロ圏内に問題を抱えている国が多い (スペイン、ポルトガル、ギリシャなど)、このため垂れ流し状態のドルの行く先は、仕方なく円・元に向かってきています。そうすると必然的に日本の円が強くなっている傾向があるからです。

円高は、次のようなことが既に起こっていますが、なお一層これが加速すると考えられます。

### 加速のパターン)

- (1) 円高になると、当然輸出産業が痛手を受け輸出しにくくなる。
- (2) 輸出産業が痛手を受けると、これを製造する産業が痛手を受ける。
- (3) デフレとして跳ね返ってくる。(円で買う物が安くなる)
- (4) 一般国民は、物が安くなりラッキーと考ますが、一方賃金も当然安くなります。
- (5) 製造業では、安くなった材料 (輸入) であっても、製造コストが高くなり「勘定にあわない」状態となります。
- (6) 企業の防衛手段として円高で海外の物が安いのですから、これを利用して海外に製造拠点をつくることになることとなります。
- (7) 海外に製造工場をつくると、製造業で働ける人口は減少する。
- (8) 「産業空洞化」なお一層加速され、日本では働くところが少なくなることとなります。

### 生産人口が必要)

これらの対策として企業は、次のことが求められることとなります。

日本人だけでは、能力のある労働者不足で製造業は成り立つことが困難となり、「外国人労働者」や「外国人実習生」の導入をすることが、一層求められるのではないのでしょうか



## 中国情報 (INFORMATION CHINA)

### 政治の無策)

政治は相変わらず無策で、大臣のすげ替えだけでは、何時まで経っても同じであります。

### ばら撒き政治)

現在は、ご承知のとおり、民主党政治はばら撒き政治を行っています。その最たるものは、「子供手当」「高速道路無料化」などであるが、これは全て「赤字国債」に頼っています。

赤字国債：国の歳入（収入）がないため、国が国債（国の借金）をし、歳出（支出）に当てる。  
建設国債を除く

この額が、国民全部の貯蓄量を上回ろうとしています。

簡単に言うと、生活費が足りないので、銀行〔国民〕から借金して、消費（浪費）しているのです。

今日 1月 25日 12時 00分現在、我々国民が背負っている借金が幾らあるのでしょうか？

863兆 8506億円です。これを国民の数（126,926千人）で割って見ると、1人当たり約 6百 80万円です。1世帯当りでは、約 1,617万です。国の借金は1日当り 6,300万円増えています。

正月早々背中が寒くなってきます。

この借金の上に借金を積み重ねようとしている、政府は何を考えているのでしょうか？

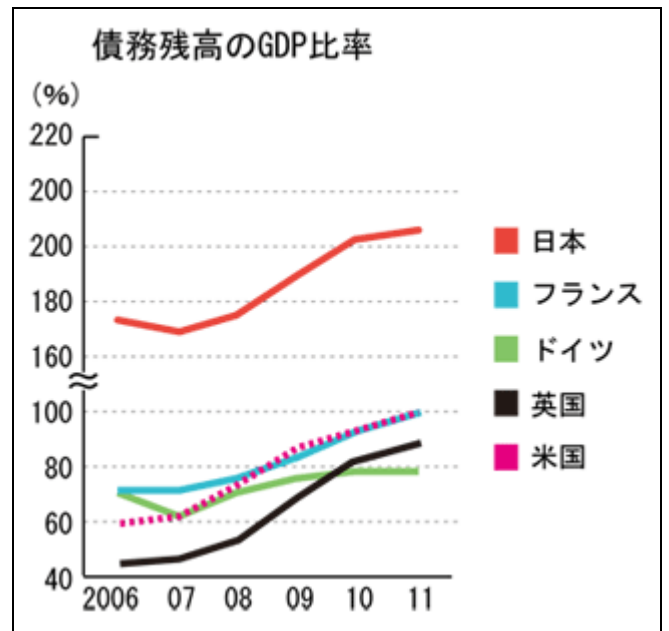
借金時計・・・ <http://www.takarabe-hrj.co.jp/clockabout.html>

### 借金大国日本

米国の格付け会社(S&P)が日本の国債の格下げを引き下げました。菅首相は記者会見で「私はそういうことに疎いので・・・」と、またまた「アカン」発言をしました。参考までに下記に「疎い」の意味を書きましたが、一国以上の主が発言するべき言葉でないことは確かです。それでは一体、世界の債務残はどうなっているのでしょうか？

日本政府の債務残高は、名目国内総生産の 204%に達します。先進国（米国、フランス、ドイツ、英国）の殆どは 80%～90%台で、2番目に高いイタリアでさえ 133%であります。このような現象は戦後によく見られる現象です。

現政権は、消費税を上げれば解決出来るなんて言っていますが、国民からこれ以上の税負担を強いるなどして、片方で支出の垂れ流しをする、政府が何の対策も講じない。言い換えれば政府に垂れ流しをさせる為に国民があるではありません。全く話にならない「バカ政府」と言っても過言ではありません。



※ 疎い（うとい）とは？  
知識や理解は不十分である  
煩わしく思う  
感心がない、愚かである、間が抜けている



## 中国情報 (INFORMATION CHINA)

### 謝り外交)

一方、外交に目を向けてみると尖閣列島に象徴されるように、何時まで経っても「謝り外交」「米国追従型外交」(植民地外交)をしており、「真の独立国」となっていません。

1月号にも書いたとおり、尖閣列島の日本政府の対応にがっかりし、日本政府だけは毅然とし救ってくれると期待をしていました、東南アジアの各国は期待が失望となり、日本を信用できる国とは見なくなっている。重要な外交にイニシアチブを取れなく、これが当然「経済」にも影響を及ぼしています。

政治家がよく言う言葉に「しっかりと」など訳の分からない言葉を連発しますが、政治家に「しっかりとしなければならぬのはあなた方だ!!」と国民が反対に言いたいですね。

### 米国債)

日本の米国国債に日銀の購入額は、実に推定残高は 380 兆円に達しています。(日銀は発表していないが推定)これを日本の予算は、毎年の予算が 80 兆円位で税収は 44 兆円です。また、日本は毎年 32 兆円の米国債を買っていると推定できます。税収の 70%に当る国債を買っていることになります。言い換えれば、日本が貿易で儲けた金は米国債を買うことに使います。この金が 2 度と日本に戻ってくる見込みが全くありません。言い換えれば、日本が一生懸命働いて、米国にお金を差上げているのと同じであります。

もっと悪い言い方をすれば、お金が無く借金で生活している国は米国で、子分である日本はこれまた、借金で生きているヤクザの米国と言う親分に上納している国です。

上納しているのに、親分(米国)に何も言えない子分(日本)なのです。

### まとめ)

それでは、なぜこのような国になってきたのでしょうか？

戦後の目覚しい経済の復興は何処に行ったのでしょうか？

なぜ米国、中国、韓国など諸外国に対し「謝り外交」ばかりで、毅然とした態度が取れないのでしょうか？

それらは、1 に教育、2 に安全・安心のための過度な規制、3 に国際化を叫びながら国民の心が「井の中の蛙」であります。



## 中国情報 (INFORMATION CHINA)

### 教育)

これは、戦後何処の国の人でも、自国を誇りする教育をしているに関わらず、日本だけが「日本人であることの誇り」を教えなくなり、「日本は悪いことをした、悪い国である」などと教える教育がこれです。

日本の目覚ましい発展は、戦争で敗北した人達が直後の生まれた人達の生活の態度、考え方の良いところを自然と教えてきました。言い換えれば、本来「まじめな気質とサムライの心」がここまで日本を発展させたと言って過言ではありません。

ところが、左翼的思想が台頭し教育の現場で「日本が駄目な国」「悪い国」などとばかり教え、極めつけは「ゆとりの教育」などとバカな教えをした結果がいわゆる「落ちこぼれ」や「フリーター」を生み出し、権利の主張ばかりする者が増やしてきたのです。

権利の主張が強くなると、今度は教育現場の先生が、生徒が悪いことをしても生徒の父母が怖くて怒ることさえ躊躇し、「事なかれ主義」が横行することになり、熱心な先生が熱心の余り手を挙げようとすると、新聞沙汰や首になりかねません。これが現在の教育現場であります。

また、「安心・安全」を願う余り、「何をしてはいけない」という否定的な法律を、わんさ定めこのために一層「権利の主張」「責任の転嫁」が横行するようになりました。

#### ～例1～

車で走っていると水たまりがあり他人に泥水が飛びました。

これは「道路管理者」悪い、損害賠償をしてくださいと言うことになります。

#### ～例2～

(実際に現職の警察官幹部から聞いた話です。)

警察官が詐欺事件を調査していました。この詐欺被疑者が香港に逃げ、警察官香港警察に協力をお願いします、香港まで出張しました。

日本の警官：「〇〇に詐欺の容疑が掛かっている」と言うと、

香港の警察官：「騙されたという人は何歳ですか」

日本の警察官：「42歳です」と言うと。

香港警察官：「香港では、詐欺になりませんよ」「年寄りであれば別でしょうが、若い、分別のある人が騙されたことにならないです」



## 中国情報 (INFORMATION CHINA)

### 規制と自己責任)

過去に衰退した産業を思い浮かべてください。

その衰退の原因は、上記のように余りに安全・安心を求める余り、極めて厳しい「規制」が多くあります。

例を挙げると、最近の一番良く分かるのが、武富士、東京スター銀行など「貸金業界」は壊滅状態です。これを推進したのが、当時の大臣与謝野金融大臣でした。

日本は、安全・安心のための厳しい規制の余りに、「自己責任」という考えを欠如させてしまい、これが日本人の心にも浸透し「日本標準」出来あがっています。

### 諸外国では)

中国、米国何処の外国に行っても自己責任が求められます。外国と交渉するときは、最悪の「日本標準」が出てきます。外国との関係で、問題提起された場合など「その外国人が悪い」「あいつが騙した」「何人が悪い」など汚い言葉を吐き自分を正当化しようとします。

しかし、相手国の慣習や習慣を熟知し、「国際標準」身につけ交渉の舞台に着かねばならないものです。言い換えれば、「自己責任でなければならぬ」、「人を見て法を説け」であり、このことを棚に上げ「自分の愚かさ」をさらけ出す事が多々出てきます。

この「愚かさ」「バカ」を、国を挙げて内外に宣伝した象徴は「尖閣列島問題」であります。今、日本にとって必要なのは、政治家やひ弱な官僚の言うことでなく、「国の存立要件を原点」に戻り考えてみる必要があります。

### 日本・中国・米国関係経済事情)

元は、昨年末1ドル6.6元を突破し上昇をしています。これは、上昇していると言うより人為的に上昇させたという意味の方が正しいでしょう。

理由は次の通りであります。

- (1) 中国は昨年(10年)、巨額の黒字貿易収支に対し米欧から批判を回避する措置
- (2) 中国のインフレを抑制するためなどがあります。

(1)の要因は誰でもが理解できることですので、ここでは解説は省きます。

(2)に要因については、日・米・欧は金融の緩和により、世界的に金余り現象が続いています。特に米国は空前の金融緩和政策を取り、これが莫大な投機資金となり中国や開発途上国に流れ込んでいます。人民銀行が元を支えるため市場介入を実施しています。そうすると外貨が元が変わり、中国国内で「金余り現象」を生み出しています。市中に回っている人民元が55兆円(日本75兆8千億円、前年末比16.7%増)となり、紙幣の印刷能力にも不安(印刷会社6社で製造)が出てきている位であります。

このだぶついた「金余り現象」は、中国国内の物価の上昇をさせています。(前月号に記載)

反対に元を上昇させれば、金の流れ込み、インフレを抑えられるというのがこの理由です。また、投機資金の流れ込みもおさまるのです。しかし、不動産の急速な下落、輸出産業に対する悪影響などの要因があり、調整が非常に微妙であります。



## 中国情報 (INFORMATION CHINA)

### 中国の現状)

中国経済は非常に早い速度で成長しているものの、問題が無い訳ではありません。これを列挙すると、

対外的	対内的
元の切り上げ圧力	物価のインフレ
人権問題	広がるばかりの貧富の差
貿易収支	沿岸部と内陸部格差
中華思想がもたらす中国標準	不動産バブル
台湾問題	軍部との確執

など数々の問題があります。

中国は、昨年の成長率は10.5%で世界の経済のけん引役を期待されています。しかし「物価の上昇」に加え、今なお「不動産価格の上昇」続いています。

この対策として預金準備率を引き上げるなど、金融を引き締める方向に転換しています。さじ加減を誤れば、景気が一気に減速する恐れがあります。物価の上昇は年5%といわれていますが、体感的には10%位だと考えられています。

また不動産価格は、昨年8月末まで落ち着く気配を見せていましたが、巨額の投機資金が海外から流れ込み、再び上昇に転じています。

### 貿易収支)

中国当局の発表によると、輸出額が31% (1兆5779億ドル) 伸び、輸入が37.8%増 (1兆3948億ドル) となり、輸出入額とも過去最大となっています。このことは「世界の工場」という意味だけでなく、「世界の市場」としても示唆しています。

貿易収支は多少減少したものの、なお巨大な額となっており、特に米国に対しては一昨年よりも増加しています。

当然米欧からは、なお一層の「元の切り上げ」を求められるかは確実であります。

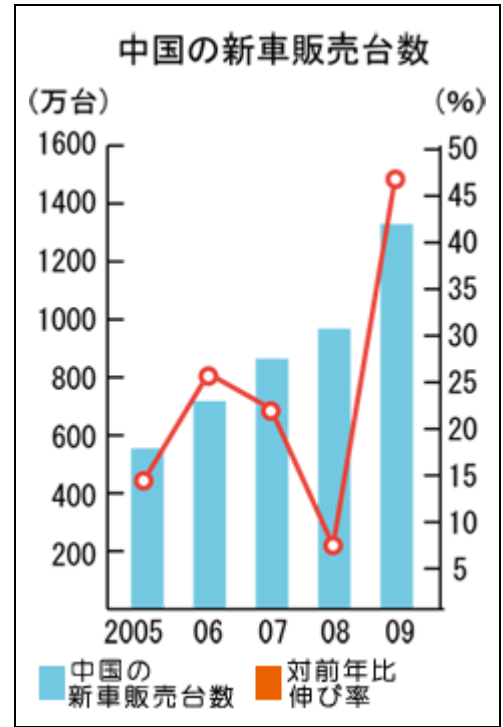
輸出の特徴として、東南アジア諸国連合 (ASEAN) 向けは、昨年1月から11月までは34%増加し、また1月から8月までのASEANからの輸入は、70%増となっている。これは自由貿易協定 (FTA) が大きく追い風となったものです。

中国企業は元決済と豊富な資金で、現地の企業買収、販売会社や製造拠点を計画しており、益々中国のASEAN市場の開拓が活発になると予想されます。



## 自動車事情)

中国の自動車の販売台数は、一昨年度の32%増の1806万1900台であった。これは世界1位で米国の1.56倍です。輸出台数では63.9%の増です。メーカー別ではGMが28%増で235万台、VW192万台などであるが、トヨタが84万台(19.4%)、ホンダ64万台(12.2%)といずれも増えている、しかし他メーカーより伸びなかったのは、夏期の部品メーカーのストライキで、生産に影響が出たと考えられます



## 人民元で直接投資)

中国本土の企業が海外に直接元決済で投資について、人民元立ての決済を一部解禁しました。解禁した対象は北京、上海、広東省など貿易決済が元で認められている銀行、企業であります。これによって、海外の企業買収が出来るようになりました。

## 中国の投資)

中国の海外への直接投資が前年に比べ36%増となり、599億ドルと過去最高を記録しました。

従来海外からの投資先として「受け入れる側」だったが、海外に投資をする側としても急速に存在感を示すようになりました。

投資先の業種は、資源エネルギー関係の大型買収(スペインのレプソルなどブラジル権益)、国別では香港、オーストラリア、東南アジア諸国連合、であります。これまで少なかった日米欧も急速に伸びている。今後、技術を求めて日米欧と対外投資を強めることになろう。

## 日本・中国)

中国の内需で稼ぐ日本企業、現在まで中国進出と言うと、中国に部品や原材料を輸出し安価な労働力を使って、現地生産された最終製品を逆輸入するという構図で成り立ってきました。ところが、中国の内需が旺盛になり現地生産、現地販売と違った変化が見られます。また、現地で生産し東南アジア輸出するという変化も見られます。日本本社へは、現地法人の配当という形になり従来から様変わりしてきました。対中国の所得収支での昨年1月から6月では、4050億円の黒字となっています。これは5年間で倍増した額と同じであります。





## 中国情報 (INFORMATION CHINA)

### 習近平)

北京から下放をされた近平は、陝西省延安市の郊外、(田舎の田舎)に12人の知識青年が汽車、バスに揺られ着きました。そこは玄関降雨量が少なく、冬は零下20度以下、夏は35度の極暑で樹木は育たず、地面を掘り下げて造る地下住居の住まいです、作物は厳しい自然環境のため、高粱(コウリャン)しか育たず、米の飯など考えられません。北京では考えられないノミやシラミに全身を噛まれ体中がかさぶただけです、食べるものと言えば雑穀やトウモロコシです。終には、こんな生活に耐えられなくなった近平は、黙って村を脱出し北京に戻ってしまいました。

北京に戻りましたが、住民票は陝西省で、市から「学習班」に入れられ、全くの重労働を強いられました。下水管の埋め込み作業であります。伯父や伯母に説得され、もう一度田舎に戻る決意をし、陝西省に戻りました。しかし、そこでは、何ら変わる事のない厳しい労働が待っていました。その上、北京へ逃げ帰った弱みがあり、村人から「又逃げる目にとっとと消えうせろ」など罵声を浴びせられる毎日が続きましたが、近平は伯父伯母の説得の言葉「民衆の海の中で生きないで何が出来るか」を思い出し、決意を新たにしました。

まず、この地に溶け込むにはどうすればよいのか、延安なまりの勉強だ、依然とは違った労働を進んでやりました。以前はいいやや労働をしていたのですが、今度は進んでする動労です。最初は女性にも負けましたが、コツを覚えると、180cm100kgを超える体重、村一番の力持ちになっていました。

又一方、近平の労働を見て村人も住居にやってくるようになり、彼の部屋は村の住民センターのようになりました。そこでは「北京とはどんなところだ」「中南海はどうだ」など、また、村の幹部から相談を持ちかけられ、相談が政治的な問題にも及んで、皆から一目置かれるようになりました。

近平は中国共産党の下部組織である中国共産主義青年団(共青团)への加入の申請を行いました、当初は「習仲勲息子」とレッテルから何回も何回もはねつけられましたが、8回目について入団が許可されました。

これが近平を政治家に向う門となったのです。72年の8月のことです。

この機会にと近平は共産党への入党も申請しました。しかし、共青团への入党のような訳でなく、現在でも13億の国民に対し、7,500万人しかおらず、20人に1人の割合です。村の幹部にしてみれば、近平の申請書を上部機関に上申したとき、中央の権力闘争の火種になり、自分お首まで危うくなる、だから当の幹部は申請を握りつぶす、しかし11回目ようやく県の党委員会に提出され許可されました。74年20歳のときで、ほどなく梁家河大隊支部書記に任命されました。

実質的な村長です。北京から来て、脱走をしたはみ出しの青年が村のナンバー1になったのであります。

次回は父との再会です。



## 中国の車事情)

中国では自動車の数が急激に増加している  
あちこちで渋滞し、タクシーの数も尋常ではない  
庶民にとってはまだまだ高嶺の花であろう自動車・・・その内訳はどうなっているんだろう？  
車体価格には、車両価格、税金、保険代、ナンバープレート代だが、すぐに法律が変わる中国のこと  
…今後はどうなるかわからない。



さて、車両価格について少しお話ししましょう。

中国で日本車やその他の外国産、いわゆる外車を購入するには、我々日本人の感覚からすれば約2倍の価格になる、それというのも関税の多い中国だから。

しかし、BMWでも中国産ものを買うとなると日本人が買う感覚で買えるようになる。

お金持ちは外車（輸入車）を買うのだが、見栄で車を購入すると中国産のBMWを買うことが多い。

一般市民に人気の車は10～15万元、日本円で約200万円位です。GMのビック（BUICK）は中国人には人気が高く、私の友人もBMW（中国産）とBUICKを所有しております。

## ナンバープレート)

さて、次にナンバープレートについてお話ししましょう。

企業においては、資本金額に応じて支給されますが、持てる車の数も必然に決まります。

個人はナンバープレートを購入しなければなりません。日本では故意に取得しない限り、ナンバープレート代金は必要ありませんが、中国は地域によっても値段が違います。

上海を例にとると、車を購入する場合は3～4万元（40万円～60万円）を支払わなければなりません。私達の感覚では不思議な感じがしますね。しかし、経済発展が著しい上海や北京では交通渋滞緩和を目的に（公害問題も少しは考えている!?) 増加し続ける自家用車を規制しようと、ナンバープレートの発行を制限し登録車両数を政府がコントロールしています。

ナンバープレートを取得する場合は毎月の交付数が決まっている為、毎月1回競売形式で高額なものから落札されていきます。中国人の大好きな『8』の数字・・・『8888』なんて番号は百万元・・・日本円でウン千万円もするらしい。



毎日のように何千万円も現金を持って車を買いに着ても、ナンバープレートが貰えず車を買うことしか出来ない人も少なくはない。まあ、日本では考えられない状況になっている事は確かです。

因みに・・・上海郊外の田舎のタクシーは割安なのですが市内に乗り入れることは出来ず、市内でタクシーに乗る場合は割高の市内専用タクシーに乗らなければなりません。お客は屋根に付いている行灯で見分けるそうですが、私も観光先からホテルに帰る時に走れないと降ろされた事があり、訳が分からなかったのですが、私が乗っていたのは田舎のタクシーで市内のホテルには送ってもらえなかったのです。

### 笑おうにも笑えない話) (借金大国日本)

ごく普通の人のお話

Aさん：「退職したし何も無いが借金もないから気楽に生きられる。」

Bさん：「家のローン払ってしまったのですか？」

Aさん：「退職金を使って払い終わった。」

Bさん：「預金が沢山あるんですね。」

Aさん：「預金はありませんが、家も自分のものだし、年金がある。」

Bさん：「何人家族ですか？」

Aさん：「妻と2人です。」

Bさん：「そしたら、借金1,360万有るのではないですか？」

Aさん：「どうして？ やっと退職金使って家のローン払い終わっているのに。」

Bさん：「我々の代わりに国が借金している」「これが国民1人当たり680万円です。我々が払わないといけない。」

Aさんはキョトンとした顔で

Aさん：「借金は、国じゃないのかい？我々ではないでしょ？」

Bさん：「それでは、誰が払うのですか。」

Aさん：「孫の子供手当て、これも借金か？」

Bさん：「そうですよ!! 我々国民が借金して払っているのです。」

憤懣やり方ない怒りを覚えて

Aさん：「何のために一生懸命働いてきたのだろう。政治は国民を馬鹿にしている！」

「借金作って、どうして手当てを出させるだろうに!!」

笑いたいが、笑えない話でした。

### 【投稿募集します!】

中国に関する情報、ご意見、相談、自慢話等々、どんな内容でも結構です。貴方からのご意見、ご投稿お待ちしております。匿名やペンネームでもOKです。

投稿先：info@ibia.or.jp

組合ホームページ：<http://ibia.or.jp/>

組合スタッフのブログ：<http://ibia.blog6.fc2.com/> コツコツ更新中!